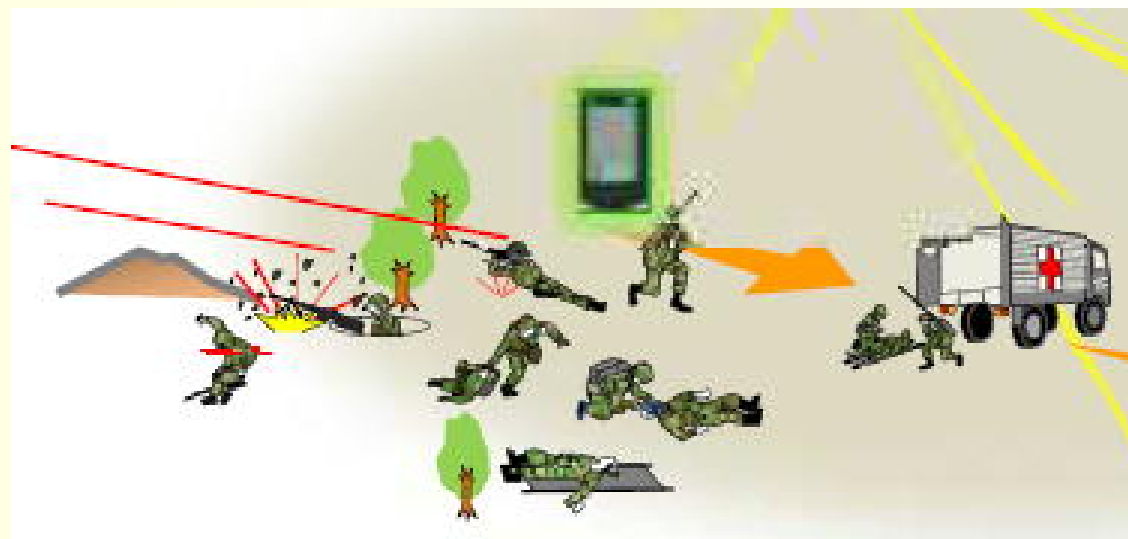


リーブインピース@カフェ



敵との交戦で死傷者の発生を想定

——防衛省が検討し始めた
「軍事作戦としての救護態勢」



2015年12月20日

リーブ・イン・ピース☆9+25

前回カフェの議論

- ・ 南スーダンには内戦勃発で派遣5原則が破綻。今すぐ撤退すべき。
- ・ 国連PKO＝中立ではない。内戦の当事者になる。
それだけでなく、逆に紛争、不安定化の長期化の原因に。
- ・ たとえ「人道援助」でも国家支配、軍事作戦の片棒をかつぐ
- ・ ソマリアも南スーダンも内戦の長期化は、武器商人の格好のターゲット。なぜ、貧しい国があれだけの武器を持てるのか。

さらに識者は以下の5点を指摘

- ・ 多国籍PKO自体が、共同軍事作戦という性格を持っている。
- ・ 兵士給料や、天然資源等の利害。
- ・ 派遣によって「国際貢献」をアピール。「日の丸」掲揚自体が目的
- ・ PKO派遣が、政治的駆け引き、政争の具。(例 ルワンダの訴追免除)
- ・ 米国の意向を反映。米国の肩代わり。

「自衛隊員のリスク」に関する政府答弁

「リスクとは関わりがない」（安倍首相 5 / 1 4）

「木を見て森を見ない議論が多い」（安倍首相 5 / 2 5）

「隊員のリスクが増大することはない」（中谷防衛相 5 / 2 2）

「自衛隊の部隊が安全な場所で活動を行うことには変更はない」
「自衛隊員が戦闘行為に巻き込まれるリスクが高まることはない」
（6 / 2 政府答弁書）

「新たな任務に伴う、新たなリスクが生じる可能性がある」（中谷防衛相 6 / 1 0）

「自衛隊員のリスク軽減につながる」（佐藤参院議員 8 / 4）

ところが・・・

戦場での戦死を想定

自衛官が、戦争法による海外派兵で、
戦場で死亡した場合の弔慰金(賞恤^{じゆつ}金)

9000万円へ

賞恤^{じゆつ}金に関する訓令(防衛省)



我が軍

戦場での戦闘を見越した救護態勢の整備

防衛大綱2010年

「隊員の壮健性維持に資する衛生基盤等を整備する」

防衛大綱2013年12月で大幅に書き換え

「自衛隊員の壮健性を維持し、各種事態や国際平和協力活動等の多様な任務への対応能力を強化するため、自衛隊病院の拠点化・高機能化等を進め、防衛医科大学学校病院等の運営の改善を含め効率的かつ質の高い医療体制を確立する。また医官・看護師・救急救命士等の確保・育成を一層重視する。このほか、事態対処時における救急救命措置に係る制度改正を含めた検討を行い、第一線の救護能力の向上や統合機能の充実の観点を踏まえた迅速な後送態勢の整備を図る。」

2014年7月 集团的自衛権行使容認閣議決定

2015年9月 戦争法(平和安全法制)成立

2016年3月まで 戦争法施行

『防衛看護学』（2013年12月）

第1章 災害看護

第2章 国際平和協力活動における看護

第3章 戦傷病看護

第1節 作戦地域における看護の特性

第2節 戦傷病治療における看護

第3節 NBC攻撃による傷病者の看護

第4章 健康管理

第5章 メンタルヘルス



「防衛省・自衛隊の第一線救護における 適確な救命に関する検討会」

4月22日、6月17日、7月23日、9月16日の計4回開催

・米のベトナム戦争、アフガニスタン戦争、イラク戦争の死傷者の研究から、「第一線」での救護態勢を検討。

・現在自衛隊の衛生科隊員は約9000人
救急救命士と准看護師の資格を併せもつ衛生科隊員が
医療行為をできるようにする。

・衛生科隊員＝衛生兵

医官・歯科医官・看護官・薬剤官
などで編制。

防衛省の来年度予算概算要求→

4 衛生機能の強化

自衛隊病院の拠点化・高機能化などを進め、防衛医科大学校病院などの運営改善を含め効率的かつ質の高い医療体制を確立する。また、医官・看護師・救急救命士などの確保・育成を一層重視する。さらに、第一線の救護能力の向上や迅速な後送態勢の整備を図る。

- 事態対処時における第一線の救護能力の向上
事態対処時における第一線での救護措置に係る検討（2百万円）
 - ・ 諸外国の軍隊における第一線での救護措置及び必要な教育訓練等を調査



第一線での救護活動のイメージ

これまでの自衛隊の「防衛看護」

(1) 阪神淡路大震災を契機とした防災救護

(2) 国内の「有事」に備える

——自衛隊病院を中核に国内の医療機関、病院

自衛隊病院——有事に備え、たえず一定数の空きベッドを確保
非効率、金食い虫
——一般に開放されたのは最近

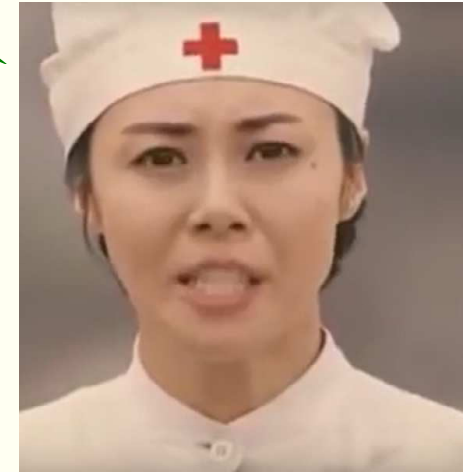
(3) 国際平和協力活動における看護

マラリア、テング熱、HIVなどの伝染病や疾病予防医療が基本

(4) 作戦地域における看護

- ・救護態勢も軍事作戦の重要な一部とみる
- ・人命尊重ではない。軍事作戦が再優先。
- ・人命救助も、戦闘員を戦場に復帰させるため。
- ・一般人は救護しない。 敵兵も救護しない

中国人の負傷兵を治療できない
というのなら、私たちは何のために
ここにいるのですか？



戦場救護を掲げる赤十字の精神とも全く違う

—「戦場において差別なく負傷者に救護。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保すること」

「ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う」

このようなヒューマニズムは捨てる

あらためて「死生観」教育の意味

単に戦争で死ぬ覚悟だけではない。

自分自身を尊厳のある人格ではなく、戦争のコマと捉える。

国策には、人命以上の価値がある。

- ・負傷して助かろうと思うな。(見捨てられることを覚悟)
- ・助けようと思うな。(瀕死の同僚を見捨てることを覚悟)

旧日本軍 軍人勅諭

「義は山嶽より重く

死は鴻毛より軽しと心得よ」



PTSD――米軍イラク・アフガニスタン戦争の場合

PTSDとモラル・インジャリー(良心の呵責)

現在では負傷兵の98%の命を救うことができる

その反面、膨大な数の負傷者

なかでも精神疾患・PTSDを抱えた兵士の急増

イラク・アフガニスタン戦争

戦死者 約7000人(14年間の合計)

帰還兵の自殺者 約8000人(1年)

・イラクの前線基地、負傷者が搬送されるドイツのラムステイン空軍基地とランドスツール病院、派兵と帰還の拠点となるワシントン州のランス陸軍基地、そしてカリフォルニア州の国立PTSDセンター

巨大な戦闘員再生ケアシステムが存在している

饗庭野演習場での陸自と米海兵隊による日米共同訓練

「第一線救護」訓練 戦闘中に負傷した兵士の初期の救護と延命措置

アフガニスタンで3度の実戦経験があるという海兵隊員

「共同で戦闘行動することになった場合、陸自隊員にも、海兵隊のやり方を活用してほしい」



9/7 饗庭野演習場で

邦人救出用装甲車部隊を創設方針（12/18報道）

陸上自衛隊に、邦人救出用装甲車部隊を創設する方針

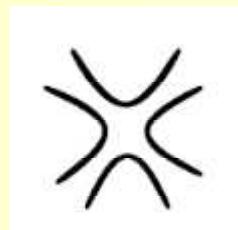
中央即応連隊に20両程度を配備し、いつでも海外派兵できる

オーストラリア製 来年度予算で4両導入計画。

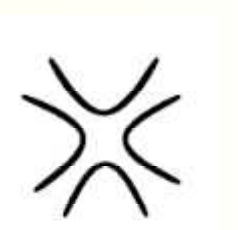


イラクで大量の犠牲者を出した
路肩爆弾対策もバッチリ

対ゲリラ戦の戦場でも大丈夫？

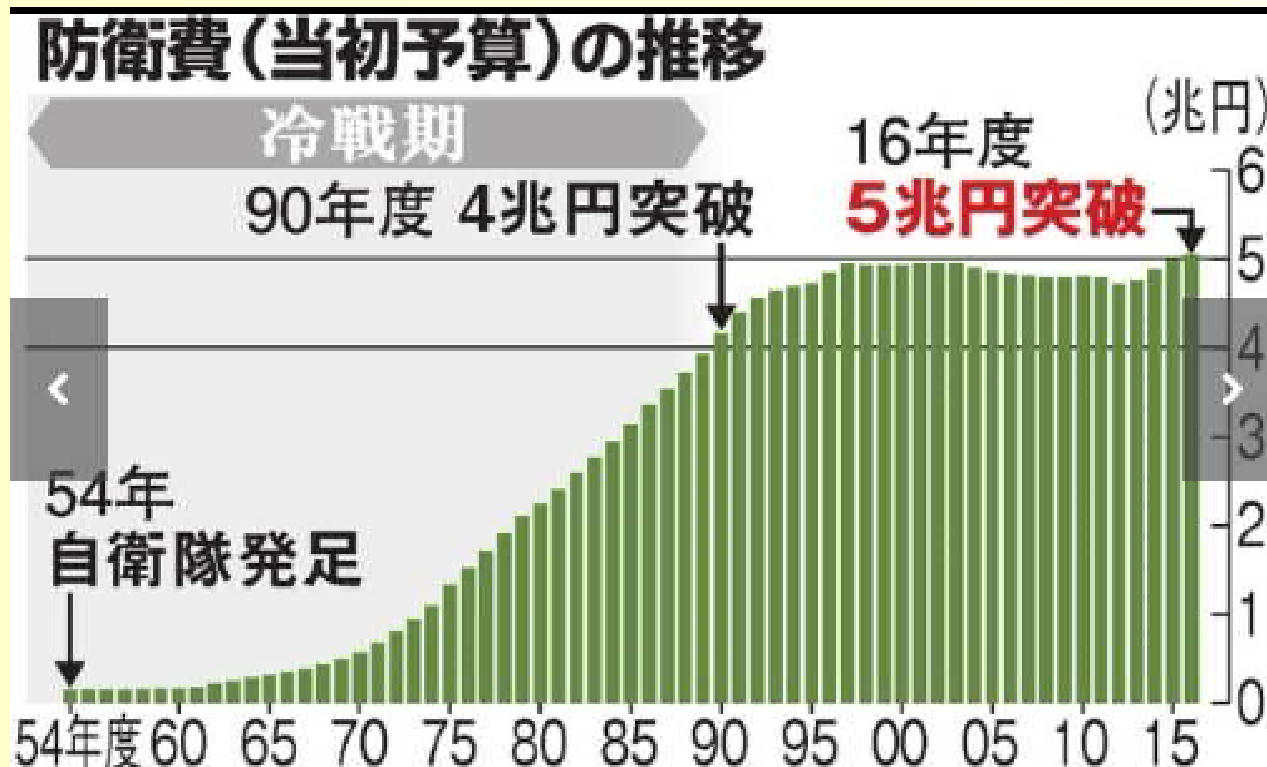


いらんことはしないでくれ



来年度予算案 防衛費 初の5兆円突破

- ・ 80年代米ソ冷戦期の二倍
- ・ ローンで購入
- ・ 中国への戦争挑発
- ・ 海外で実際に戦争できる兵器
- ・ 沖縄辺野古基地建設費
- ・ 思いやり予算



戦争する国づくりを進める
来年度予算案に反対しよう